

安芸圏域における日本一の健康長寿県構想の推進について

- ア 安芸圏域地域包括ケア推進協議体・・・・・・・・・・ P1
- イ 安芸圏域健康づくり推進協議会・・・・・・・・・・ P2
- ウ 安芸圏域歯科保健地域連絡会・・・・・・・・・・ P3
- エ 安芸地区医療福祉調整会議
 - ②障害や生きづらさを抱える人への
就労支援体制づくりについて・・・・・・・・ P4

高知版地域包括ケアシステムの構築の推進

目的；住み慣れた地域での保健・医療・介護・福祉の連携による健康で安心できる地域づくり

令和3年度の取組状況

1 在宅医療・介護連携のさらなる推進

取組の柱；多職種による情報共有、入退院～在宅までの流れを支援する仕組みづくり

- ①高知医療介護情報連携システム(高知家@ライン)を活用した在宅療養高齢者支援の取組
システム活用状況ヒアリング(医療・介護事業所(31))⇒活用事例取りまとめ⇒ケアカフェでの事例共有
- ②安芸圏域入退院連絡手引きによる在宅療養高齢者支援の取組
運用状況ヒアリング(医療機関(2)、居宅介護支援事業所(16))⇒現状課題整理⇒市町村・地域包括支援センターと現状課題を共有、今後の取組の検討
- ③市町村、中芸広域連合、地域包括支援センターとの情報共有、協議
在宅医療・介護連携推進事業に係る戦略会議(R4.1.7)
- ④医療・介護連携に関する多職種意見交換
安芸圏域地域包括ケア推進協議体(ケアカフェ)(R4.2.16)※リモート開催 参加者83名 参加機関44機関
・在宅療養高齢者について高知家@ラインを活用して医療介護が連携して支援している事例の共有
・多職種による意見交換

2 住民主体の介護予防、生活支援の仕組みづくり

地域支援事業の効果的な実施に向けた保険者・地域包括支援センターとの検討、協議

※地域包括支援センター機能強化推進事業の活用

- ①室戸市 《アドバイザー・講師/(一財)医療経済研究機構 服部 真治氏》
 - a 住民主体による虚弱高齢者等への生活支援の仕組みづくり
・全体協議4回のほか、打合せ・個別協議により市の方向性整理を支援
・住民対象講演会「室戸市支え合い・地域づくり講演会」(R4.1.19) 参加者59名
 - b 要介護認定適正化
・室戸市要介護認定調査員現任研修 《アドバイザー/三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 岩名 礼介氏》
・厚生労働省要介護認定適正化事業「技術的助言」 《認定適正化専門員 早川 仁氏》
 - c その他
・重層的支援体制整備事業への移行に必要な行政の活動スキルについて、行政及び社会福祉協議会の勉強会、意見交換会を開催(R3.11.25)
- ②安芸市 《アドバイザー・講師/(一財)医療経済研究機構 服部 真治氏》
 - a 短期集中予防型サービス(通所C)事業
当該事業は、令和元年度にアドバイザーの助言、支援により施策を組み立て令和2年6月から開始。多職種・多事業所連携による介護予防を実践し、令和2年度は31名の利用
関係者の意見交換の場を設け、アドバイザーの助言、今後の課題整理等をフォローアップ(R4.1.19)

令和3年度の成果

1 在宅医療・介護連携のさらなる推進

- ・入退院連絡手引きのルールが関係者に浸透しており、病院から在宅へのスムーズな支援ができていたことが確認できた。また、ルール運用状況の継続的な検証、評価を行うとともに、今後の対応課題として、身寄りのない人や対応困難事例への対応の工夫点などを盛り込む協議について、市町村・中芸広域連合、地域包括支援センターと確認
- ・入退院連絡手引きや高知家@ラインによる連携状況、課題を多職種で共有し、継続して圏域全体の医療・介護連携に取り組むことを確認

2 住民主体の介護予防、生活支援の仕組みづくり

- ・室戸市/医療介護人材不足がさらに深刻になる中、市の施策として、住民と共に介護予防や生活支援等の支え合いに取り組む方向付けができた。
- ・安芸市/より効果的な事業実施に向け、事業対象者の整理が必要であることを関係者で確認できた。

今後の取組

- 入退院連絡手引きや高知家@ラインなどの連携ツール活用により、在宅療養高齢者等のさらなる支援体制構築の取組を進める。
- 住民ニーズに基づく介護予防、生活支援の仕組みづくりを市町村・中芸広域連合、地域包括支援センターと共に推進する。

目的 安芸圏域の健康づくりを推進するため、必要な事項について協議する

課題 ◇男性の壮年期死亡率が高い◇血管病対策・生活習慣病の予防◇小規模事業が多く、健康づくりが個人任せである

令和3年度の取組状況

◇安芸圏域健康づくり推進協議会（開催2回：11月18日、令和4年2月書面開催予定）

◇働き盛りの健康づくり

健康づくりの支援

- ・高知家健康パスポート取得及び事業所単位での健康づくりの促進
- ・事業所等での健康教育（歯科）の実施
- ・高知家健康チャレンジ

職場の健康づくりチャレンジ表彰

- ・市町村広報などを活用した周知
- ・エントリー事業所への訪問、健康づくり啓発資材等の配布（17事業所）

職場の健康づくり応援研修会（7/13 参加者19名）

- ・講演1 「協会けんぽからの情報提供」
- ・講師 全国健康保険協会高知支部 木下 氏
- ・講演2 「腰痛予防は手軽にできる！～一緒に体験してみませんか～」
- ・講師 コンディショニングトレーナー 小原 妙子 氏

◇たばこ対策の推進

- ・健康増進法一部改正について周知（チャレンジ表彰参加事業所 等）
- ・とき禁煙サポーターズフォローアップ研修会（12/7 参加者35名）

◇糖尿病を中心とした血管病の重症化予防（糖尿病専門部会）

- ・予防の推進（特定健診受診率向上、健康づくり団体への研修会等）
- ・保健医療福祉等との連携強化
（安芸圏域糖尿病専門部会での検討、高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組の推進等）
- ・保健医療体制の整備（人材育成及び職種をこえた地域でのネットワークづくり等）

令和3年度の成果

- ◇安芸圏域健康づくり推進協議会にて関係機関と情報交換等を行い連携や協力体制がとりやすい関係づくりが進んだ。
- ◇職場の健康づくりチャレンジ表彰事業では、エントリー事業所に対し訪問等による職場の健康づくりの啓発をすることができ、高血圧対策サポーター企業の登録等につながった事業所もあった。

課題

- ◆生活習慣病予防や健康づくりの取組として実施している健康パスポートの取得者割合が市町村によって差があるため、地域全体としての意識の向上を図るため職域での周知も含め引き続き周知が必要
- ◆健康づくりは個人に任せている事業所が多い
 - ・チャレンジ表彰や研修会に参加している事業所は、事業所単位での取組や健康づくりの意識の向上がみられるため、参加事業所が拡大するように事業の工夫や周知が必要
- ◆たばこ対策の推進
 - ・引き続き健康増進法改正を含む受動喫煙防止対策の周知が必要（特に第2種施設）

令和4年度の取組

- ◆職場の健康づくりチャレンジ表彰事業の開催
- ◆職場の健康づくり応援研修会の開催
- ◆たばこ対策の推進については引き続き受動喫煙防止対策の周知を幅広く行う
とき禁煙サポーターズフォローアップ研修会は、中央東福祉保健所と合同開催（令和4年度担当：中央東）
- ◆血管病の重症化予防については部会で実施
- ◆関係団体との連携の推進
 - ・安芸圏域健康づくり推進協議会等で各団体の役割の再確認
 - ・研修会等機会を通じての協働

令和3年度 安芸圏域歯科保健地域連絡会について

●日時：12月2日（木）14:00-15:30 ●場所：安芸総合庁舎

<p>参加者</p>	<p>●参加委員：10名（代理2名含む） （高知県歯科医師会安芸室戸地区、高知県歯科衛生士会、高知介護支援専門員連絡協議会、高知県養護教諭教員協会安芸支部長、田野町教育委員会、各市町村・中芸広域連合歯科保健担当者）</p> <p>●事務局：5名</p> <p style="text-align: right;">計 15名</p>
<p>協議した内容 (議題、現状、課題等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.高知県歯科保健対策について 令和3年8月26日に開催された高知県歯と口の健康づくり推進協議会について 2.安芸圏域の歯科保健対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 歯と口の健康づくりに関する指標と現状 <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯の無い3歳児の割合、12歳1人平均むし歯数(永久歯)は第2期基本計画策定時と比較して改善しているものの、県目標には届いていない 【むし歯の無い3歳児の割合 H26：80.8% → R2：84.7% ※県目標90%以上】 【12歳1人平均むし歯数(永久歯) H26：2.3本 → R2：1.1本 ※県目標0.5本以下】 ・歯肉に炎症所見を有する者(12歳)は増加傾向【H26：16.2% → R2：24.7%】 (2) むし歯予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・県立安芸中学校が今年度10月からフッ化物洗口を開始し、安芸管内の全小・中学校で洗口が実施されている (3) 歯周病予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・成人、妊婦歯科健診の受診者数について (4) 高齢者等の歯科保健対策 <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルフレイル予防複合プログラムについて ・就労支援事業所での歯科保健指導、在宅歯科連携室との連携について 3.各市町村の歯科保健対策 4.その他 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の口腔ケア用品の備蓄等について
<p>会議で出た意見</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2.安芸圏域の歯科保健対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 歯と口の健康づくりに関する指標と現状について <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口の保護者説明会等は歯科医師も協力可能のため、一緒に取り組んでいきたい。 (2) むし歯予防について <ul style="list-style-type: none"> ・学校と教育委員会、役場で打合せ等をおこないながら、歯科衛生士による歯みがき指導を積極的に企画、実施している。 ・学校現場では行事等も多いが、児童にとって歯みがき指導等の健康教育は重要。今後も機会を作り、年1回は専門職種による歯みがき教室等の開催を続けていきたい。 (3) 歯周病予防について <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、安芸市では成人歯科健診の独自実施に加え集合契約でも実施。 ・妊娠中は口腔内の状況が悪化しやすく、胎児にも影響することが分かってきている。セルフケアに加え、妊婦歯科健診を受けることで母子の健康につながる。 ・糖尿病の持病や疑いのある住民と接する機会を活用し歯周病予防を一緒に進められるよう、歯科受診の声かけも大切。 (4) 高齢者等の歯科保健対策について <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルフレイル予防複合プログラムを安芸市で実施している。対象市町村は1年毎に変更する。 3.各市町村等の歯科保健対策 4.その他 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の口腔ケア用品の備蓄について、各市町村等ではどのような物を備えているか。 ・色々あればよい物はあるが、何から準備するべきか迷ったら、まずは歯ブラシを備えてほしい。
<p>今後の取組について</p>	<p>○安芸圏域の現状、課題等について歯科保健地域連絡会を開催し整理・共有する</p> <p>○管内市町村の災害時の口腔ケア用品の備蓄等について取りまとめ、共有・情報提供をおこなう</p>

令和3年度 障害や生きづらさを抱える人への就労支援体制づくり

自殺未遂者の相談支援

各種会議等を活用し市町村への周知・啓発するとともに
市町村自殺対策計画に沿った取組を推進

- ◇自殺未遂者相談支援事業
対応件数34件(H29.1~)R3年度新規対応5件(R4年1月末時点)
- ◇よろず相談会in室戸市(2月28日開催予定)
- ◇自殺未遂者相談支援連絡会(新型コロナウイルス感染症まん延により中止)
- ◇市町村自殺対策計画策定への支援⇒計画策定見直し等への支援

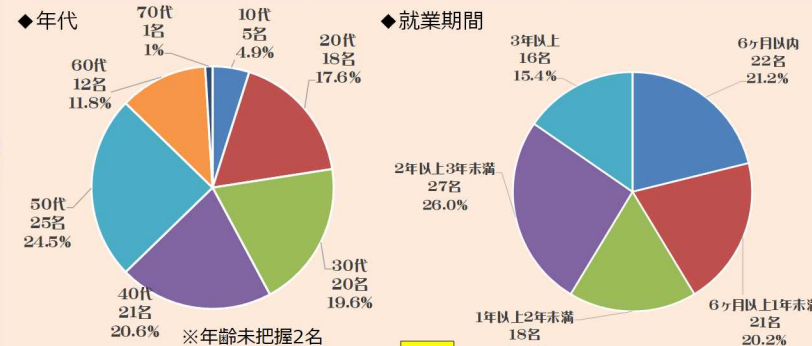
就労支援体制づくり

ここから東部地域ネットワークを活用した、子どもから高齢者を
対象とした市町村の実情に応じた就労支援体制づくり

- ◇ここから東部地域ネットワーク会議開催
第1回「地域包括ケアシステムの構築に向けて」
講師 高知県立精神保健福祉センター 山崎 正雄所長
参加者54名 参加機関31機関
第2回「ひきこもりにある状態の方やその家族への支援について」
講師 高知県立精神保健福祉センター 山崎 正雄所長
参加者54名 参加機関31機関
第3回 新型コロナウイルス感染症まん延により中止
- ◇安芸市農福連携研究会等への取組支援(1回/月)
- ◇農福連携高知県サミットinあきの開催(安芸市農福連携研究会開催への支援)
- ◇市町村自立支援協議会就労支援部会への支援(安芸市:1回/月 中芸広域連合)
- ◇農福連携による就労希望者への支援
- ◇教育部門との連携(高知県立山田特別支援学校田野分校等との連携)
- ◇司法との連携(高知区検察庁、法テラス弁護士を講師に支援者の研修会を開催)
- ◇国のひきこもり支援に関する関係府省横断会議等で障害や生きづらさを抱える人への就労支援体制づくりについて情報発信

農福連携の実績(令和4年2月現在)

◆就労状況			◆就労者の主な特性	
従事先		従事者数	主な障害名	人数
農家	20箇所	35	精神障害(統合失調症・うつなど)	43
JA高知県(出荷場・本所)	5箇所	9	発達障害	19
酪農	1箇所	3	ひきこもり	23
青のり養殖	1箇所	3	身体障害(聴覚・肢体)	2
炭焼き	1箇所	1	知的障害	8
(一社)こうち絆ファーム	1箇所	53	難病	4
29箇所(安芸市22箇所・安芸市外7箇所)		104	その他(生活困窮、てんかん等)	5
			計	104



	R2年4月	R3年3月	R4年2月
就業者数	55人	82人	104人
就業期間1年以上	22人	55人	61人

就業者数、就業期間1年以上の方の増加

成果・課題

- 成果
- 農福連携による就業者数の増加、就業期間1年以上の方の増加
 - 農福連携について農福連携高知県サミットinあき等を通じて農家や関係機関の理解促進を継続して実施
 - 中芸広域連合と障害者等の就労支援について協議を実施することで連携強化を図った
- 課題
- 生きづらさを抱える人への就労支援では、支援内容が多岐にわたるため支援者のスキルアップが重要

R4年度の方針

- ① さらなる関係機関との連携強化
- ② 相談支援のスキルアップ
- ③ 市町村との連携による支援体制整備